

2021年3月

年間活動報告書

2020年版

外国為替市場発展のために

東京外国為替市場委員会

(Tokyo Foreign Exchange Market Committee)

目次

- | | |
|---------------------|------|
| 1. 巻頭の言葉 | P 2 |
| 2. 小委員会報告 | P 5 |
| 3. 東京外国為替市場委員会委員等名簿 | P 14 |

1. 巻頭の言葉

東京外国為替市場委員会・中村議長

2021年3月

日本銀行を始め、外為市場委員会関係各社の皆さまには当委員会の活動に多大なご支援をいただいております。当委員会を代表してお礼を申し上げます。以下、昨年度の活動についてご報告申し上げます。

この1年の活動を振り返りますと、まずはコロナ禍における対応があります。コロナウイルスが本邦でも猛威をふるい始めた昨年2月から、月次の本委員会と各小委員会の活動は全て Web 形式で行われています。本委員会では各社の在宅勤務状況や感染防止策を共有することが定例化されました。日本 FX クラブに協賛して頂いております FX セミナーについて、WEB 開催を行うための各種整備を進めております。現在ではコロナ禍における対応が BAU 化され、委員会活動はよりレジリエンシーが高まった運営がなされております。

昨年3月は、コロナ禍の拡大に伴い世界の金融市場で急激な Volatility の上昇に見舞われましたが、加えて、業務運営としても、在宅勤務が導入される等、これまで想定していない体制を急遽構築することが強いられた市場参加者も多くありました。こうした中、当委員会では、流動性低下に対する注意喚起とともに、オーダー執行での留意点、情報管理、リスク管理等、在宅勤務体制を構築する上で考慮すべき FX グローバルコード上の原則を提示し、再確認を致しました。

又、オペレーション臨時小委員会(仮)の立ち上げに向けて事務局を設立しました。これは、在宅勤務対応を拡充する為に、プロセスのペーパーレス化の必要性を感じたことが発端となります。業務プロセスの効率化を業界として改善させることで、東京市場のレジリエンシー向上につなげることを企画したものととなります。本件については、バイサイドを含む幅広い市場参加者の方々から課題出しを頂き、グローバルのプラクティスも確認しつつ、当委員会としての提言までつなげられればと考えております。

足許の重要な活動に、FX グローバルコードの見直しがあります。今年は、GFXC による FX グローバルコードの見直しの年となりますが、現在、Anonymous Trading、Algo TCA、Execution Principles、Disclosure、Buy-side outreach、Settlement Risk の6つの分野で具体的に見直しが進められています。当委員会としても、これに関連する活動が多く有り、これまで GFXC に対して見直しの個別論点について意見を提出して参りました。

今回の見直しのひとつの方向性として、Disclosure の強化があります。為替市場に

において健全性を保ち、又、テクノロジーの進化が急速に進む中で、善意の市場参加者が、知らず知らずに不公正な競争にまきこまれることのないようにするためにも、流動性供給者やトレーディングプラットフォームは的確な **Disclosure** を行い、市場や取引の透明性を一層高めることが求められています。

又、**FX** グローバルコードを比例原則の下、バイサイドの方々を含めて市場参加者に広く浸透することが、為替市場の健全性を高める自助となります。こちらは、**GFXC** 及び当委員会においても引き続き重要な課題認識のひとつとなります。

なお、**GFXC** における議論の中では、日本銀行は **Buy-side outreach**、**CITI** 星野氏は **Execution Principle** の個別論点で引き続きリードをとっていただいております。グローバルな為替市場への貢献は非常に大きいものがあります。なお、**CITI** 星野氏は **GFXC** 副議長を任期満了で 12 月にご退任となりました。同氏は副議長としても **GFXC** の全体推進を含めて中核的な役割を担って頂きました。

為替市場を取り巻く市場環境は刻一刻と変化しておりますが、市場委員会は引き続き、健全な市場の維持発展のため、各種活動をしてまいります。今後も変わらないご支援を賜りますようお願い申し上げます。

東京外国為替市場員会議長 中村直人

2. 小委員会報告

運営小委員会

I. 委員会概要

- 運営小委員会は、東京外国為替市場委員会（以下「本委員会」）の円滑な運営のために、以下の実務的な機能・役割を担っている。
 1. 委員の選任・退任に関わる事項
 2. 役員の改選に関わる事項
 3. 本委員会において議論・検討すべき事項の確認、意見交換等
 4. その他、本委員会の運営に関する事項

II. 活動報告

2020年は主に以下の活動を行った。

- プロセスに沿って、本委員の選任および役員の改選について確認。
 - ✓ 委員の退任伴う新委員の選任（1名）
- 「本委員会において議論・検討すべき事項」として、主に以下の項目について確認、意見交換。
 1. 緊急事態宣言を踏まえた各行の業務運営に関する意見交換
 2. リモート・ワーク等、業務慣行の変化を考慮し、標準的業務プロセスの確認に向けた臨時オペレーション小委の発足
 3. ファンド為替 PVP 化に向けた対応
 - ✓ 各業態向けアンケートの実施と金融庁・日銀への報告
 - ✓ 信託協会が主導する、信託銀行/資産管理信託の定期会合にオブザーバーとして参加
 - ✓ 他行間セットオフ慣習の廃止に向けた働きかけ支援
 4. 市場委員会の会計監査

III. 今後の課題

- ファンド為替 PVP 化の導入遅延に対するフォローアップ
- GFXC 5 項目活動に関する東京市場参加者の意見集約
- GFXC 5 項目活動のうち、Buy-Side Outreach 及び Execution Principles への対応

以上

広報小委員会

I. 委員会概要

- 広報小委員会は、東京外国為替市場委員会(以下本委員会)の活動を為替マーケットの参加者のみならず、社会に向けて発信することを目的として活動している。主な情報発信手段として本委員会のホームページに以下のような情報を掲載し、必要に応じ内容を更新している。

1. 邦文および英文の「委員会議事録」および「年間活動報告書」
2. セミナー開催など委員会活動に関する情報発信
3. 「コード・オブ・コンダクト」およびその更新
4. 本委員会のメンバー、組織等
5. 当委員会作成の公表文書

また、グローバル外為行動規範の遵守促進の支援などを目的にメディア各社との連繫を深めると同時にホームページの運用に関しては、サーバーの見直しやレイアウトの変更など利用者の利便性を重視しつつ、低コストの運用を心がけている。

II. 活動報告

- 2020年は以下の点を重点的に実施した。

1. 「グローバルコード遵守意思表示先一覧」を月次で新規の遵守意思表示先を更新した。
2. 2020年4月中および10月中の外国為替取引を対象とした「東京外国為替市場における外国為替取引高サーベイ」の調査結果をホームページに掲載した。
3. 店頭外国為替証拠金取引に関するカバー取引状況をホームページに掲載した。
4. GFXCからの注意喚起をはじめ、ゴールデンウィーク、在宅勤務、年末などについて文書をホームページに掲載した。
5. サーバーのセキュリティ機能の拡張に伴い、閲覧ソフトウェアのバージョンについて注意を喚起した。

III. 今後の課題

- 引き続き本委員会の情報発信・収集のニーズを理解し、適切かつ低コストのホームページの運営を行う。また、各小委員会の広報に関するニーズを把握し、情報発信機能の強化を図る。

以上

教育小委員会

I. 委員会概要

- 教育小委員会は、フォレックス・セミナー等の実施を通して、東京外国為替市場に関わる人材の育成や新しい知識の普及に努める役割を担っている。

II. 活動報告

- 2020年の新型コロナ禍に伴い、日本フォレックス・クラブ協賛で2月並びに8月に予定していたフォレックス・セミナーは、やむなく中止することとなった。当小委員会では、市場参加者の間でもリモート・ワーク率が高まってきたことを受けて、従来の郵送手続とホームページ併用による市場参加者へのフォレックス・セミナー開催通知を改め、電子メールとホームページ併用による開催通知とすべく、電子媒体での個人情報管理体制・内部規定の再整備やサーバー契約・ドメイン取得等を進めた。また今後、会場形式での従来型フォレックス・セミナー開催だけでなく、オンライン形式での開催も可能とすべく、必要な体制の検討・整備を進めている。

III. 今後の課題

- 今後も、リモート・ワーク率の高止まりやオンライン・ミーティング定着化が想定される事から、当小委員会のみならず東京外国為替市場委員会全体に係る活動、すなわち情報提供・注意喚起・イベント開催通知等を電子化すべく、必要な体制整備を進めていく。
- 一方で、これまでと同様、東京外国為替市場のみならず金融市場全体のニーズに合致した、先進的かつ有益なフォレックス・セミナーやオンライン勉強会の企画・開催を続けることで、外国為替市場参加者の見識を高らしめ、以って東京外国為替市場全体の活性化を支援していく。
- また、フォレックス・セミナーや勉強会のWebストリーミング開催だけでなく、オンデマンド提供等、これまでと異なる形式での学習機会の提供も、具体的に検討を進め実現する必要があると考えている。

以 上

法律・コンプライアンス小委員会

I. 委員会概要

- 法律・コンプライアンス小委員会は、東京外国為替市場委員会（以下「本委員会」）からの調査依頼があった事項等について、法令・規制・社会規範・倫理・道德といった観点から問題を検討し、本委員会に報告、提言する役割を担っている。

主な検討事項や活動内容は以下。

1. 外国為替市場その他国際金融市場における取引慣行や行動規範について、独禁法等の観点からの確認
2. 本委員会の諸活動について、営利活動から隔離されていること、取引公平性や自由競争を阻害しないことの確認
3. 将来顕在化が想定されるテーマについての先行的な情報収集、分析
4. その他、本委員会から調査依頼があった事項への対応

II. 活動報告

- フォレックス・セミナー招集方法の電子化、市場参加者宛て注意喚起文書メール発信の検討にあたり、電子メールアドレス等個人情報取得に係る法的問題や留意点を整理。
- 個人情報取得のための同意取得文書や市場委の内部規則について、専門家の意見を参照しながら文案を作成。

III. 今後の課題

- 上記Ⅱ記載事項の実運営開始にあたり、追加検討項目あれば対応。
- 競争法遵守に関する日本フォレックス・クラブの対応強化も踏まえ、当委員会でのコンプライアンス上の論点や追加対応要否を検討。
- 推奨慣行や注意喚起文書の発信に関し、法的観点から検討課題があれば適宜対応。

以 上

市場調査小委員会

I. 委員会概要

- 市場調査小委員会の主な活動として、東京外国為替市場委員会による「東京外国為替市場における外国為替取引高サーベイ（以下、東京市場サーベイ）」を定期的を実施し、海外主要市場の市場サーベイとの情報共有を行うとともに、その内容について考察を行い、金融環境や市場の質・量の変化に対する分析を実施している。

II. 活動報告

- 2020 年は主に以下の活動を行った。
「東京市場サーベイ」を 4 月及び 10 月に実施（4 月分は 2020 年 8 月 6 日に、10 月分は翌 2021 年 1 月 26 日に公表）。

III. 今後の課題

- 海外主要市場やグローバルの FXC 市場サーベイと東京市場サーベイの比較・分析調査の継続等を通じ、東京外国為替市場の特徴点や同市場の活性化に向けた取り纏めを実施する。東京市場サーベイの調査項目の拡充についても継続的に検討する。

Code of Conduct 小委員会

I. 委員会概要

- Code of Conduct 小委員会は、健全なる外国為替市場の維持・発展を目的とし、「グローバル外為行動規範」および「東京外国為替市場における別冊」の作成・改訂を行う。
- 東京外国為替市場委員会が遵守すべきと考え、奨励する行動規範及び市場慣行を示す指針を作成する。
- 主にインターバンク取引における取引慣行遵守状況のモニタリングおよび新たに取り組むべき課題の認識に務める。

II. 活動報告

- ✓ 「グローバル外為行動規範」の 3 year review に向けた各本委員の意見集約および Global FXC に提出する東京外為市場委員会としての意見を取りまとめ（11-12月）

III. 今後の課題

Global FXC における「グローバル外為行動規範」の 3 year review を受けて、外為行動規範および別冊のアップデートを行う。

以上

バイサイド小委員会

I. 委員会概要

バイサイド小委員会は、業態ごと不定期に開催していたバイサイド会合を、2016年より小委員会に発展したものの。

グローバル外為行動規範策定をきっかけとして、これまでセルサイド中心としていた市場委員会の活動に、バイサイドの参画を呼びかけ、外国為替市場の公正で健全な発展に資するべく、より幅広い目線から各諸問題に関して討議、意見交換を行う。

II. 活動報告

2020年は開催なし。

III. 今後の課題

- グローバル外為行動規範のバイサイドへの周知および遵守の促進。
- 市場慣行およびその他諸問題に対する討議、意見交換を継続し、外国為替市場の安定的な発展のための活動を行う。

以上

BCP 小委員会

I. 委員会概要

- BCP 小委員会は、被災後の東京外国為替市場の機能維持と早期の機能回復を支援し、取引の混乱を市場全体として最小限に抑制するための市場レベルの「業務継続計画」を策定・運営する役割を担う。

II. 活動報告

- 3 市場合同訓練の実施【11 月 11 日（水）】
 - ✓ 8 時 30 分被災想定にもとづき、「BCP-WEB を利用した双方向のコミュニケーション操作の習熟」と「自社の BCP 態勢確認」を目的に訓練を実施した。

III. 今後の課題

- BCP に関連する情報の共有と知識の普及活動を実施し、参加者の BCP 態勢整備を支援していく。
特に、平時にあっても BCP に関連する情報交換等を行うことができるように、規則およびマニュアルの見直しを検討する。
- 新型コロナウイルスに関わる対応
- BCP WEB の運用体制改善
 - ✓ 平時におけるコミュニケーション基盤としての活用方法の検討
 - ✓ 視認性の向上

以 上

E・コマース小委員会

I. 委員会概要

- E・コマース小委員会は、為替取引の電子化が進行する中、主に以下の項目につき議論・考察を行う役割を担う。
 1. E・コマースの現状把握
 - ✓ インターバンク取引及び顧客取引の電子化の状況
 - ✓ 店頭 FX 業者の取引動向の把握
 2. E・コマースが外国為替市場に与える影響
 - ✓ 市場流動性、ボラティリティ
 - ✓ 取引環境、行動規範

II. 活動報告

2020 年は、主に以下の活動を行った。

- 第一回 E・コマース小委員会（2020 年 11 月 26 日）

GFXC において重要な課題としてあげられるラストルックについて、東京外国為替市場委員会メンバーの理解を深めるべく、星野氏の協力のもとラストルックに関する勉強会を行った。コロナ禍であることに鑑み、オンライン開催とし E・コマース小委員会メンバーを含め 61 名が参加した。

参加者からは、LP、LC の立場ごと分析を通じてラストルックに関する課題を理解することができたとの声があった。

III. 今後の課題

- アルゴリズム取引、AI を利用したトレーディング手法が、市場流動性や短期の相場変動にどのような影響を及ぼすのか、また市場取引の健全性に対する潜在的なリスクについての調査を行い把握する。
- アノニマス取引やラストルックのように GFXC でも取り上げられている課題について、東京外国為替市場参加者の一層の理解深化を目指す。
- 店頭 FX 業者の決済リスク管理強化等の観点からの対応策（リスク情報の開示、ストレステストの実施）について把握とその影響の分析を行う。

以上

3. 東京外国為替市場委員会委員等名簿（2021年1月29日現在）

<委員>

| 委員 | 役職 | 所属 |
|--------|-----|--------------------|
| 中村 直人 | 議長 | 三菱UFJ銀行 |
| 川口 隆 | 副議長 | みずほ銀行 |
| 大澤 孝元 | 副議長 | バークレイズ銀行 |
| 原 俊太郎 | 書記 | 日本銀行 |
| 星野 昭 | 委員 | シティグループ証券 |
| 高山 典大 | 委員 | 野村證券 |
| 宗川 雄視 | 委員 | リフィニティブ・ジャパン株式会社 |
| 五日市 知之 | 委員 | 三井住友信託銀行 |
| 大木 一寛 | 委員 | EBS ディーリングリソースジャパン |
| 宮崎 誠 | 委員 | CLS |
| 石橋 優 | 委員 | 三井住友銀行 |
| 岩崎 拓也 | 委員 | バンク・オブ・アメリカ・エヌ・エイ |
| 石川 昌信 | 委員 | 上田東短フォレックス |
| 廣田 泰司 | 委員 | JP モルガン・チェース銀行 |
| 好川 弘一 | 委員 | NAB 証券 |
| 塚田 常雅 | 委員 | 三菱UFJ信託銀行 |
| 井上 裕嗣 | 委員 | BNP パリバ銀行 |
| 大熊 貴之 | 委員 | 野村アセットマネジメント |
| 桑野 貴 | 委員 | ゴールドマン・サックス証券 |

<準委員>

| | | |
|-------|-----|---------------------|
| 伊藤 祐介 | 準委員 | マネー・ブローカーズ・アソシエーション |
| 中野 琴音 | 準委員 | バークレイズ銀行 |
| 田中 潤平 | 準委員 | みずほ銀行 |
| 内山 祐樹 | 準委員 | 三井住友銀行 |
| 小柳 徳明 | 準委員 | 三菱UFJ銀行 |
| 塩原 遵 | 準委員 | 日本銀行 |

<オブザーバー>

| | | |
|-------|--------|-----|
| 坂本 智章 | オブザーバー | 財務省 |
|-------|--------|-----|

(注) 敬称略(順不同)

<小委員会名簿>

| 常設小委員会 | 委員 | | 所属 |
|-----------------|------|--------|---------------------|
| 運営小委員会 | 委員長 | 塚田 常雅 | 三菱 UFJ 信託銀行 |
| | 副委員長 | 大澤 孝元 | パークレイズ銀行 |
| | | 原 俊太郎 | 日本銀行 |
| | | 塩原 遵 | 日本銀行 |
| | | 廣田 泰司 | JP モルガン・チェース銀行 |
| | | 伊藤 祐介 | マネー・ブローカーズ・アソシエーション |
| | | 川口 隆 | みずほ銀行 |
| | | 田中 潤平 | みずほ銀行 |
| | | 石橋 優 | 三井住友銀行 |
| | | 内山 祐樹 | 三井住友銀行 |
| | | 中村 直人 | 三菱 UFJ 銀行 |
| | | 小柳 徳明 | 三菱 UFJ 銀行 |
| | | 星野 昭 | シティグループ証券 |
| | | 飯野 麻智 | 三菱 UFJ 信託銀行 |
| | | 中野 琴音 | パークレイズ銀行 |
| 広報小委員会 | 委員長 | 大木 一寛 | EBS ディーリングリソースジャパン |
| | 副委員長 | 原 俊太郎 | 日本銀行 |
| | | 滝口 朋史 | QUICK |
| 教育小委員会 | 委員長 | 高山 典大 | 野村証券 |
| | 副委員長 | 石川 昌信 | 上田東短フォレックス |
| | | 廣田 泰司 | JP モルガン・チェース銀行 |
| | | 宗川 雄視 | リフィニティブ・ジャパン |
| 法律・コンプライアンス小委員会 | 委員長 | 五日市 知之 | 三井住友信託銀行 |
| | 副委員長 | 塚田 常雅 | 三菱 UFJ 信託銀行 |
| | | 河野 朋子 | みずほ銀行 |
| | | 山本 浩司 | 三井住友銀行 |
| | | 俣野 仁志 | 三井住友信託銀行 |
| | | 浅田 伸一 | 三菱 UFJ 銀行 |
| 市場調査小委員会 | 委員長 | 石橋 優 | 三井住友銀行 |
| | 副委員長 | 中村 直人 | 三菱 UFJ 銀行 |
| | | 大澤 孝元 | パークレイズ銀行 |
| | | 宮崎 誠 | CLS |
| | | 原 俊太郎 | 日本銀行 |
| | | 津田 拓也 | 日本銀行 |
| | | 塩原 遵 | 日本銀行 |
| | | 内山 祐樹 | 三井住友銀行 |

| | | |
|--|--------|-----------|
| | 加藤 潤一郎 | 三菱 UFJ 銀行 |
|--|--------|-----------|

| 常設小委員会 | 委員 | | 所属 |
|-------------------------|-----------|--------|-------------------|
| Code of Conduct 小委員会 | 委員長 | 川口 隆 | みずほ銀行 |
| | 副委員長 | 佐々木 彩佳 | 三菱 UFJ 銀行 |
| | | 大澤 孝元 | バークレイズ銀行 |
| | | 原 俊太郎 | 日本銀行 |
| | | 廣田 泰司 | JP モルガン・チェース銀行 |
| | | 田中 潤平 | みずほ銀行 |
| | | 大和 麻里子 | みずほ銀行 |
| | | 石川 昌信 | 上田東短フォレックス |
| | | 石橋 優 | 三井住友銀行 |
| | | 内山 祐樹 | 三井住友銀行 |
| | | 五日市 知之 | 三井住友信託銀行 |
| | | 塚田 常雅 | 三菱 UFJ 信託銀行 |
| | | 野村 拓美 | 三菱 UFJ 銀行 |
| | | 加藤 潤一郎 | 三菱 UFJ 銀行 |
| | | 岩崎 拓也 | バンク・オブ・アメリカ・エヌ・エイ |
| バイサイド小委員会 | 委員長 | 石橋 優 | 三井住友銀行 |
| | 副委員長 | 好川 弘一 | NAB 証券 |
| | | 中村 直人 | 三菱 UFJ 銀行 |
| | | 川口 隆 | みずほ銀行 |
| | | 大澤 孝元 | バークレイズ銀行 |
| | | 原 俊太郎 | 日本銀行 |
| | | 内山 祐樹 | 三井住友銀行 |
| | | 真鍋 隆 | 三井物産 |
| | | 梅野 淳也 | ブラックロック・ジャパン |
| | | 大熊 貴之 | 野村アセットマネジメント |
| | | 竹内 俊明 | 伊藤忠商事 |
| | | 樋口 滋 | 大和証券投資信託委託 |
| 山崎 哲夫 | 金融先物取引業協会 | | |

| 常設小委員会 | 委員 | | 所属 |
|------------|-------|-------------------|--------------------|
| BCP 小委員会 | 委員長 | 中村 直人 | 三菱 UFJ 銀行 |
| | 副委員長 | 小林 健一郎 | みずほ銀行 |
| | 副委員長 | 原 俊太郎 | 日本銀行 |
| | | ミルズ 寿美子 | CLS |
| | | 鈴木 一也 | 日本銀行 |
| | | 津田 拓也 | 日本銀行 |
| | | 森山 太朗 | 三井住友銀行 |
| | | 森 生 | 三井住友銀行 |
| | | 浅田 伸一 | 三菱 UFJ 銀行 |
| | | 塚田 常雅 | 三菱 UFJ 信託銀行 |
| | 飯野 麻智 | 三菱 UFJ 信託銀行 | |
| E・コマース小委員会 | 委員長 | 大澤 孝元 | パークレイズ銀行 |
| | 副委員長 | 大木 一寛 | EBS ディーリングリソースジャパン |
| | | 蒲谷 淳二 | パークレイズ銀行 |
| | | 山崎 哲夫 | 金融先物取引業協会 |
| | | 原 俊太郎 | 日本銀行 |
| | | 阪下 智英 | JP モルガン・チェース銀行 |
| | | 福田 京子 | パークレイズ銀行 |
| | | 井上 吉康 | 三菱 UFJ 銀行 |
| | | 福島 将太 | みずほ銀行 |
| | | 石橋 優 | 三井住友銀行 |
| | | 森山 太朗 | 三井住友銀行 |
| | 岩崎 拓也 | バンク・オブ・アメリカ・エヌ・エイ | |

(注) 敬称略(順不同)